



Futtsu

議会だより

No.139

平成18年11月10日
Fall 2006

発行／千葉県富津市議会
編集／千葉県富津市議会 議会広報委員会
〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443
Tel. 0439-80-1331 Fax. 0439-80-1350



10月19日、晴天のもと「富津都市計画道路 二間塚大堀線」の竣工式が行われました。二間塚地域から大堀方面を見る。



市内山中の「もみじロード」は11月下旬頃には見ごろになる。

9月定例会の内容	2・3P
17年度決算審査の報告	4・5P
代表質問(2会派)	6・7P
個人質問(5名)・議会改革	8～10P
富津中学校改築・処分場の漏水	11P
企業誘致の現状・定例会日程	12P

9月定例会は、9月1日から26日までの26日間で開催されました。議案28件、請願1件、陳情4件、継続審査1件、意見案2件について審議を行い、最終日9月26日に全て審議が終了しましたので、その内容を報告致します。



●富津市水道事業会計補正予算（第1号）

（単位：千円）

収 益 的 支 出			
補正要因	既決予定額	補正額	総額
人事異動に伴う人件費	1,549,732	4,044	1,553,776
資 本 的 収 入			
補正要因	既決予定額	補正額	総額
亀田浄水場の耐震診断	404,968	642	405,610
資 本 的 支 出			
補正要因	既決予定額	補正額	総額
人事異動に伴う人件費	799,819	△2,576	797,243



亀田浄水場

●市道路線の変更

	路線名	起 点	終 点	認定・廃止理由
廃止	役場五区線	下飯野字御門口241番地先	二間塚字北笹塚1231番2地先	青堀駅周辺地区都市再生整備計画
認定	役場五区線	下飯野字御門口241番地先	二間塚字樋ノ口982番1地先	〃
認定	旧役場五区線	二間塚字南笹塚1344番3地先	二間塚字北笹塚1231番2地先	〃
認定	石原青木4号線	青木字稲荷山1174番地先	青木字上入部谷923番1地先	〃
廃止	坂口東原線	大堀字坂口1631番5地先	大堀字東原1749番1地先	都市計画道路二間塚大堀線の整備
認定	坂口2号線	大堀字坂口1632番3地先	大堀字坂口1631番30地先	〃
廃止	坂口線	大堀字坂口1651番2地先	大堀字坂口1634番7地先	〃
認定	坂口線	大堀字坂口1651番2地先	大堀字東原1749番1地先	〃
認定	大堀東原1号線	大堀字東原1695番77地先	大堀字東原1750番1地先	宅地開発事業により整備された路線
認定	大堀東原2号線	大堀字東原1695番89地先	大堀字東原1695番84地先	〃
認定	大堀東原3号線	大堀字東原1695番101地先	大堀字東原1695番104地先	〃
認定	大堀東原4号線	大堀字東原1695番56地先	大堀字東原1695番16地先	〃
認定	大堀東原5号線	大堀字東原1695番74地先	大堀字東原1695番64地先	〃
認定	大堀東原6号線	大堀字東原1695番46地先	大堀字東原1695番65地先	〃
廃止	浜町下洲線	富津字雪台東1079番2地先	富津字中下洲原2400番5地先	路線整備
認定	浜町下洲線	富津字雪台東1079番2地先	富津字中下洲原2400番9地先	〃

●請願・陳情

◆請願・陳情件名	採決結果
富津中学校新校舎早期建設に関する請願書	採 択
安全でゆきとどいた医療・看護をするために、看護職員の人手不足の緊急改善を求める陳情	不 採 択
「農地・水・環境保全向上対策」に関する陳情	採 択
「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める陳情書	採 択
WTO農業交渉に関する意見書の提出を求める陳情書	採 択
富津中学校新校舎早期建設に関する陳情書	採 択
◆意見案	
義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書について	可 決
WTO農業交渉に関する意見書について	可 決

平成18年9月 定例会

●国民健康保険条例の一部改正

健康保険法の改正に伴い、70歳以上で現役並みの所得のある人の負担が、2割から3割に引き上げられます。



出産育児一時金及び葬祭費の支給額が改正されます。

『現役並み所得者』の基準

		税制改正前	税制改正後
課税所得		145万円以上	変化なし ただし、控除の見直しにより該当者が増えている
収入	70歳以上が複数いる世帯	621万円以上	520万円以上
	70歳以上が1人の世帯	484万円以上	383万円以上

『支給額改正』

給付名	改正前	改正後	施行期日
出産育児一時金	300,000円	350,000円	平成18年10月
葬祭費	100,000円	70,000円	平成19年4月

●一般会計及び特別会計補正予算

富津市一般会計補正予算（第2号）

（単位：千円）

補正要因	補正前の額	補正額	総額
人事異動に伴う人件費	15,453,668	△11,227	15,442,441

富津市一般会計補正予算（第3号）

（単位：千円）

補正要因	補正前の額	補正額	総額
富津中学校校舎改築事業	15,442,441	22,051	15,464,492

富津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

（単位：千円）

補正要因	補正前の額	補正額	総額
高額医療費の対象医療費30万円以上を新たに追加する	5,683,000	328,638	6,011,638

富津市老人医療特別会計補正予算（第1号）

（単位：千円）

補正要因	補正前の額	補正額	総額
平成17年度老人医療費の精算	4,323,515	△72,490	4,251,025

富津市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

（単位：千円）

補正要因	補正前の額	補正額	総額
平成17年度介護保険給付費確定に伴う公費負担分の返還金など	3,076,486	83,336	3,159,822



●重度心身障害者・精神障害者医療費の給付に関する条例の改正

重度心身障害

障害者自立支援法の施行に伴い、入院と通院の助成のバランスをとるために、入院時食事療養費等を助成の対象外とする条例の一部を改正しました。

精神障害者

障害者自立支援法の施行に伴い、障害者自立支援医療のうち、負担の増えた精神障害者の通院医療費分についても助成対象とした条例の一部を改正しました。

しました。

価と次年度予算などへの反映を目的に決算審査を行ないます。審査の結果、6会計全てが認定されました。

審査のなかで質問のあった項目のうち、主なものをここで紹介します。

審査を終えて委員長から一言

決算審査特別委員会 委員長 鈴木 敏雄

議会は、審議、政策の場として「是々非々」の態度で臨み、大いに議論し、事が決まったなら車の両輪のように市長と協力し合うことが大切であります。委員会は3日間委員の協力のもとに、来年度予算につながる白熱した議論がなされたと思います。

市民福祉のこと



保育所の民間移管事業

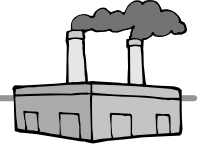
今年度実施した青堀保育所の民間移管は現在のところ苦情等もなく、順調に推移しています。今後の民間移管は、青堀保育所の内容を一定期間検証し、平成21年に飯野保育所、平成23年に中央保育所を計画しています。

栄養改善事業について

栄養教室を卒業した方などを対象に実施したが、対象者の範囲を拡大し、継続した健康管理をどのようにするか考え事業を進めます。



環境のこと



資源ごみの減少と焼却量の増加

平成16年と比較し、資源ごみの減少と焼却量の増加の原因は、市民生活と経済状況の向上とペットボトルの普及と考えられます。

リサイクルの推進について意見がありました。

不法投棄対策事業

10人の監視員が延べ30回／月の監視を実施しています。

監視体制を充実し、山積みが大きくならないうちに対応できるよう意見がありました。

花いっぱい運動

市民憲章事業で、各地区の人が集まるところに設置しています。各地区で花植え運動が展開されており、運動が広がるよう市民に声かけをしています。



道路とまちづくりのこと



道路維持事業

道路の補修については要望の6～7割程度の対応はしています。今後も予算の範囲で効率的に進めていきます。

道路維持補修費を拡大してほしいという意見がありました。

都市再生整備事業と都市計画税

青堀駅周辺の整備をまちづくり交付金等で取り組んでいるが、都市計画の事業認可を踏まえ、現在内部で検討を進めているところです。

消防のこと



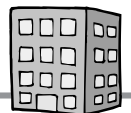
消防庁舎の耐震化

耐震診断の結果、南北のゆれに弱いという結果がでました。今年度は消防庁舎整備促進検討委員会で改修・改築等の条件を検討しています。

消防操法大会への支援

市を代表して君津支部大会に出場する分団は、照明設備や水抜き装置などを分団の負担で準備しているが、支援について今後検討していきます。

市役所のこと



窓口等での接遇の向上

県自治専門校指導者養成研修の受講により接遇の講師を養成し、市内部で職員に対して接遇研修を実施しています。市民に対する接遇は向上していると考えています。

庁舎内での省エネの取り組み

光熱費の節減対策として、昼休みの消灯や窓際の蛍光灯を外すなどの取り組みをしています。今年度から庁舎の電力契約の見直しにより、年間100万円の節減を予定しています。

職員の飲酒運転の処罰

懲戒処分規定により審査会で処分を決定します

平成17年度の決算を審査



決算書、成果報告書、監査報告書をもとに、議会中に設置された決算審査特別委員会（11名）において、平成17年度決算の審査を行いました。富津市では一般会計のほか、3つの特別会計と2つの企業会計の計6会計があります。

議会では、監査委員が行う数字や関係書

類等の吟味・精査（監査報告書として提出）とは異なり、予算が適正に効率的に執行されたかどうか、それによってどのように行政効果が発揮できたか、それをうけて、今後の行財政運営においてどのような改善工夫がなされるべきであるかについて、さまざまな角度から質問することで、事業の評

平成17年度決算

（単位：千円）

会計名	当初予算額	決算額			
		歳入	歳出	差引額	
一般会計	17,721,000	17,675,999	17,200,468	475,531	
特別会計	国民健康保険事業	5,317,000	5,853,372	5,529,946	323,426
	老人医療	4,451,591	4,171,866	4,166,866	5,000
	介護保険事業	2,527,000	2,742,407	2,658,524	83,883
会計名	当初予算額	収入	支出	差引額	
企業会計	水道事業会計収益的収支	1,572,164	1,460,796	1,461,196	▲400
	水道事業会計資本的収支	697,524	398,103	704,096	▲305,993
	温泉供給事業収益的収支	2,041	1,268	1,535	▲267
	温泉供給事業資本的収支	6,197	0	6,143	▲6,143

水道事業会計収益的収支決算額は消費税及び地方消費税を抜いた額です。企業会計当初予算額は支出予算額です。

平成17年度徴収状況

（単位：千円）

税目	調定額	収入済額	収入未済額
市民税	2,968,266	2,679,518	265,147
固定資産税	7,187,747	6,533,361	582,905
国民健康保険税	2,919,346	2,031,036	802,737
介護保険料	418,206	400,810	13,296

調定額：決定した税額等

収入済額：納入された税金等

収入未済額：未だ納められていない税金等



納税は国民の義務です！
ちゃんと納めましょう。

産業振興のこと



農作物被害対策事業

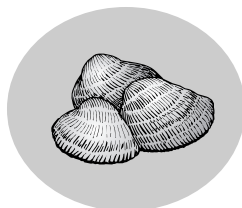
イノシシ、猿、シカに加え、狸やハクビシンなどの被害も出てきています。被害調査は区長を通して実施し、有害鳥獣対策協議会の駆除隊によるおりの設置などで対応しています。被害の状況により更に県へ要望をしていきます。

水産振興事業の補助金

貝類種苗（アサリ）放流事業は特殊な事業であり、アサリが非常に少なくなってきたことなどから引き続き実施していきます。

中小企業融資対策事業

平成17年から融資枠の拡大と、期間短縮のため審査会を廃止した結果、融資額が大幅に増えました。



教育のこと



小中学校の校舎耐震化

本年度に耐震化の終わっていない全ての学校の耐震化優先度調査を実施し、3月までに結果が出ます。耐震診断を実施する校舎の選定と当初予算への反映は難しいが、見込みで進め、4月以降に耐震診断実施に入れるよう進めます。

文化財の保護

古墳などの文化財保護にもっと予算を付けられないか意見がありましたが、当面は現状通り進めるという回答でした。

家庭教育支援事業

小中学校の保護者が主体的に家庭を中心とした子どもたちの健全育成を図る事業です。平成17年度は市内6校で実施しました。家庭教育の重要性から事業の拡充を図ります。

自立したまちづくり、 教育環境整備などの 質問をしました。

新世紀の会



鈴木 幹雄
議員

問 先ず、自立したまちづくりについての地域特性を生かした特色あるまちづくりについてお伺いいたしました。

市長 農業振興については生産性の高い優良な農地の活用を図るため、認定農業者等を中心とする農地の利用集積を図り、経営規模の拡大と安心・安全を基調とする環境保全型農業を推進するとともに、付加価値をつけた農産物の生産を目指し魅力ある農業の確立と担い手の育成に努める。

林業の振興については広大な森林で成長した原木を活用した原木シイタケ栽培を奨励していく。

水産業の振興については、就業者の安全確保を図るため漁港施設整備と維持管理を行う。また安定した漁獲量を確保するための魚介類の種苗放流事業を行うなど、栽培漁業の振興とノリの高品質化を



原木シイタケ栽培

目指す関連施設整備事業を推進する。更にはこれらの産業と結びつけた観光の振興に、自然環境と地域の特性を生かした体験型観光の推進に努める。

経環部長 今後の農業振興は、ふつつ育ち農産物の認証制度の更なる推進を進めるなど、ふつつブランドの創出に努めるとともに地産地消を基調として取り組む。また1・5次産業による付加価値をつけるなどで新しい特産品の開発やブランド品の創出をし、インターネットや広報紙などで広くPRして、農畜産物の販売の拡大を図る。

問 次に学校の施設整備と学校統廃合の整合性についてと対外的にアピールする教育についてお伺いいたしました。

教育長 学校の施設整備については、本年度実施の優先度調査の結果を待って緊急度を有する学校から随時整備をしていかなければならないと考える。また安心・安全の確保対策を進めていく。更に大規模改修あるいは改築になった場合には、学校統廃合等を考慮した中で考えていく。具体的には今回の優先度調査、耐震化診断と進め、



大規模改造された富津小学校校舎

先ず耐震化4校、更に翌年に4校と進める中で耐震化、補強、大規模改修等、その都度必要に応じて進めていく。

次に対外的にアピールする教育については、平成15年度から小中学校で「小中連携教育」に取り組んでいる。この取り組みは、教育委員会の研究指定のもと、各中学校区ごとに小中が連携し教育にあたる、富津市ならではの特色ある教育活動である。

問 次に市長の政治姿勢について、市長の役割、使命についてお伺いいたしました。

市長 市長に就任以来一貫して誠実、対話、実行により「よりよい富津市づくり」、「いきいきとした富津市づくり」に全力を注いできました。これからも誠心誠意、各世代、各層のご意見を反映させるため不転の決意で努力していく。

関連質問

中後 淳 議員

農産物等のブランド化について
問 ブランド化のためのPRなど、市として生産者のために、もっとできることがあると思うが。

経環部長 ソフト面については、市は全面的に支援しなければならぬと認識している。

学校の施設整備と統廃合の整合性

問 中学校の統廃合の検討は。

教育長 市内の小中学校すべてを視野に入れて見ていく。

問 統廃合は、交通手段・財源を含め、教育委員会だけでなく、まちづくり全体で考える段階とと思うが、市長部局の考え方は。

助役 教育部だけの議論で検討しているが、早急に全庁体制で協議していきたいと思う。

問 学校の施設整備についても、1校ずつの耐震化の方針から、問題のある学校全ての耐震化を行う方針に変わった。事業計画に見込んでいる財源のかかる事業であり、他の事業への影響も含め、これも全庁的に取り組む必要がある。今後の事業選択の方針は。

市長 子供たちの安全・安心を考え校舎の耐震化を優先的に進めなければならないと考える。それに対する財源、人事にも対応する。

*富津市議会には、現在2つの会派(新世紀の会、賢政会)があります。この会派の代表として行う質問が、代表質問になります。代表質問の時間内(質疑・応答で120分)であれば、同じ会派の人が関連質問をすることもできます。

図書館機能の現状と次世代育成支援行動計画の充実について

20世紀後半の日本は、早く、安く、便利、効率を追求し、経済的には繁栄したが、人間性の喪失、地域の荒廃、環境汚染をもたらしました。そこで、21世紀は急ぐ社会から物と心を大切に、豊かな社会を目指し、ゆったり、豊かさを求めて行くべきであり、そこに都会と違う価値を作り出すことが、地方として生き残る方向である。地方の価値として「スローライフ」を根付かせ、体現者として生活する。そんなスローライフに基づいたまちづくりを進めていくべきである。

問 6月に複合施設整備の報告があったが、まちづくり体制の取組み、活用には言及されておりません。そこで、現状とこれからの図書館像についてお伺いします。

教育長 図書館は読書場であり、市民の生涯学習の要求に答える情報提供の場として重要な施設。2公民館、市民会館と移動図書館で運営している。

これからの図書館像は、従来のサービスに、調査研究への支援、地域の問題解決や地域の振興を図ることが新たな役割。その為に



賢政会
平野 明彦
議員

レファレンスサービスの充実や学校との連携などがあるが、今後、検討会や懇談会で検討していきたい。

問 学校は地域の文化拠点。学校の図書室も地域の貴重な空間である。学校の図書室の現状は？

教育長 小学校66、978冊、中学校28、820冊、合計95,798冊。学校図書館図書標準達成率、小学校83%、中学校68%。図書購入は、小学校263万円、中学校143万円、合計406万円。児童生徒1人当たり約1020円です。

問 学校間のネットワーク、市の図書室を含めた連携については？

教育長 研究課題と考えている。

問 市内の学校司書の現状は？

教育長 司書教諭のいない学校は2校。早い機会に解決したい。



学校図書室内部の風景

問 市民に関心を持ってもらうために、図書の寄付をお願いし、ボランティア等に協力してもらおうことで、人材の養成にもなるのでは。

教育部長 参考にしていきたい。

問 図書の収納能力については？

教育部長 本棚に納まっている開架冊数は、富津公民館10、500冊、中央公民館7、600冊、市民会館7、600冊、移動図書館2、500冊、合計28、200冊。開架できない図書は、各公民館の倉庫・峰上出張所等に保管。

問 学校の余裕教室を利用して、地域の情報拠点としての学校の使い方も検討していただきたい。

富津市複合施設整備基本計画策定懇談会委員の委員構成は？

教育部長 公募による市民、市議会議員、専門的知識を有する方、学識経験者を予定している。

生涯学習の拠点となる図書館と保健活動の拠点となる健康福祉総合支援センターの機能を併せ持つ施設の整備基本計画策定に関して、幅広い視点からの意見や助言をいただければと考えている。

要望 学校との連携も考え、校長会も委員候補として検討を。

今までに無いものを作るには、それなりの準備が必要。まだ整備すべき点が多々あるので、施設を建設してからでなく、開館時点から十分機能するようお願いします。



富津市次世代育成支援行動計画
いいじゃないかふつつ

問 具体的な進行管理について。

市長 昨年12月と本年7月に推進会議を開催。今後は、次世代育成支援行動計画幹事会及び庁内会議で、進捗状況を確認しつつ、人口増加策等の重要案件は推進会議に図り推進してまいりたい。

問 現事業を熟成させるにはいいが、中身が大きく変わる事は無理。

例えば、乳幼児医療費の助成は、富津市のまちづくりから考えれば、義務教育終了までといった発想を持たなければいけないと考えるが、**福祉部長** 乳幼児医療費の助成は、8月に拡大した。助成内容の拡大は、今後検討しなければならぬ。

問 子どもに関する業務を1つにした子ども課のような、生活実感に合わせた組織のあり方について。

総務部長 市民にわかり易い方向で検討していきたい。

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、または新設されたホームページ内で詳細をご覧ください。

次世代育成支援行動計画の取り組みについて

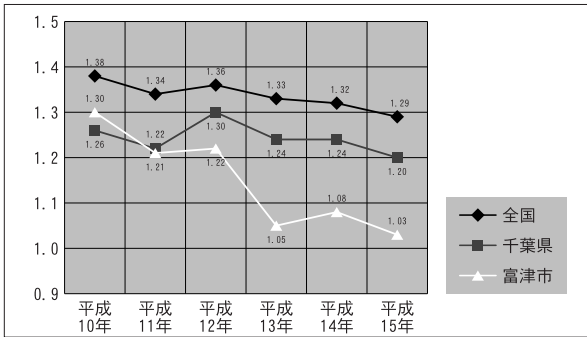


岩本 朗
議員

問 計画一年目の成果について。
市長 一七一件の事業に対し未実施はありません。具体的な成果につきましても、まだ一年を経過したところであり顕在化するには至っていないものと考えています。
問 本市の人口減少の分析についてどのような分析しているのか。

市長 年齢階層別の分析ですが、住民基本台帳人口及び外国人登録者人口は四月一日現在の年一回の統計数値を基本資料として利用しています。一層の人口動態分析が必要と考えその資料収集について検討していきたいと存じます。

合計特殊出生率



富津市「1.03」は国や県よりも早く少子化が進行している

市といたしました。市民との協働により作り上げた市民の為に計画である行動計画では、PDCAで事業の見直しを的確に行い、ひいては人口の増加に繋げて行きたいと考えています。
問 子育て支援センター設置について今後の計画は。

福祉部長 子育てにおいては、支援センターが重要であり、平成21年の三ヶ所の目標に向け最大の努力を払って行きたいと考えています。
問 乳幼児医療費助成について、近隣四市の中で比較をしたとき、どのようになっているのか。

福祉部長 近隣市との差につきましては、3才児以上の通院について本市では対象としていない点であり、これが格差となっております。この所が現在の状況になっています。

問 子育て支援の計画がある中でどのような差をなくす為に、今後どのように取り組んでいくのか。
福祉部長 この格差につきましても、なるべく早い時点で解消していかなければならないと考えています。

人口増加施策と広告収入などへの考え方について



大野 裕二
議員

人口増加施策
問 社会的要因による移動状況の把握は？内容把握は？居住地域別・性別、年齢別・理由別の移動状況は？

政策部長 把握していない。理由別移動状況については、住民基本台帳法上の扱いの中で転出入については理由を付すことは規定されていないので把握していない。

問 これらのデータを集計することにより、富津市の人口の社会的増減の内容が把握できると思うが、内容の把握について調査、集計をしていく考えはあるか？

政策部長 年齢・性別、地域別の人口については可能だと思いが、理由別の人口については住基法の移動状況については理由は記す必要がないので、不可能と考える。
問 転出のときに理由を書いても行うことはしてはいけないのか？

政策部長 住基法では不可能だと解釈している。
問 他自治体では手法は不明だが、移動理由を書いてもらい、それに基いてどの要因が一番多いのか把握しているところも実際にあるが、方法は考えられないのか？

福祉部長 任意な協力という部分

に相当すると思われる。個人のプライバシーにもつながるので、十分検討したなかで進めていく。
広告収入などへの考え方について
問 広告収入について、どの程度の理解と検討がされているか？過去の経緯は？

財政部長 現在、具体的な検討には至っていない。過去には広報紙に広告を載せて広告収入を得ようという動きがあったが、途中で挫折している。

問 担当部長の考えは？
政策部長 広告収入等により紙面が多くなるのが可能であれば積極的に取り入れたい。

財政部長 市政サイドとしては、少しでも財源を得たいと考える。
問 市長の考えは？

市長 有効な財源確保ということ、検討していきたい。



富津市のホームページ

大堀地区の 諸問題について



平野 良一
議員

問 大堀地先の道路整備について。
市長 総体的に整備が遅れていると認識しているが、緊急に対応を図る必要な場所は、現場状況等を考慮した中で整備を図っていきたいと考えている。今後は、今年度から着手する川岸富津公園線の工事を含め、緊急性を勘案した中で地元区長を初め地権者の理解、協力を得ながら進めていく考えである。

問 粉じん対策について。

市長 去る6月定例市議会でも御質問をいただいたが、大規模事業所に対し、法的に監視する立場にある千葉県大気保全課に会議や打ち合わせ等を通じて本市の現状を



大堀地先の現状

伝え、指導等をお願いしている。また、公害防止協定を結んでいるので、今後とも、県を通じて事業者に申し入れていきたいと思っている。

問 測定場所について。

経環部長 測定箇所を、君津より一箇所増設することで現在検討している。

問 青堀駅の整備について。

市長 千葉県JR複線化等促進期成同盟と連携し、毎年、JRへ要望を行っているが、JRでは利用客が見込めない運行区間の施設整備は非常に厳しい姿勢で臨んでいる状況であるが、富津市第2次基本計画「いきいき富津5か年プラン」にあるように、鉄道利用者の利便性向上のため、駅ホーム及び跨線橋への屋根の設置などについて、関係機関と連携を図りながらJRに要望し、その実現に向けて調整を図っていく考えである。また、青堀駅は富津市6駅の中で一番乗降客が多く、企業との関係、通学、通勤の関係もあり、大貫、上総湊についても、学校との関係があるので、この3つについては特に上屋については強く要望していきたいと考えている。

市の環境保全対策と 観光振興について



藤川 正美
議員

問 市内高溝の管理型最終処分場から高濃度の塩化物イオン(塩水)が検出されたが、市の対応は。

市長 有害物質は環境基準を超えていない。地域住民の安全を最優先に、千葉県の審査結果を見極めた上で指導・監視を行っていく。

問 自然を活用した、この処分場の形態は、本当に安全か。

経環部長 この処分場は天然の岩盤を利用し、下流側に遮水シートを張って堰堤をつくり、廃棄物を埋めている。岩盤の安全性は、国の基準より厳しい千葉県の基準に基づいている。

問 この大平興産からの寄付金の内容と、その総額は。また地元雇用の人数は。

経環部長 市政振興で1億9千5



既に埋立が完了した大塚山第二処分場から下流側を見る。右下の四角い水槽近くの観測用井戸から、高濃度の塩化物イオンが検出された。

百万、環境保全対策で2千8百万、教育振興で4千10万、総額2億6千310万円です。地元雇用は35名。

問 熊本県南部の水俣病の歴史から学ぶことは、市民のことを考えたならば、慎重には慎重を期して対応をお願いしたい。

経環部長 市民の健康と安全な生活を第一に考え、実態を十分把握し関係機関と連携し対応していく。

問 観光振興の一環としてトイレについての見解は。

市長 年間273万人の観光客が訪れている富津市。従来のトイレのイメージを変えるためにも美化を進めていきたい。

問 観光施設のトイレの現状は。

経環部長 常設のうち水洗式は43棟401基、くみ取り式は6棟22基あり、富津、大貫中央、新舞子海水浴場と市民の森にある。

問 従来の公衆トイレの役割を果たしているのは、地域のコンビ二ではないかと考える。アンケート結果では、地域差もあるが約半数のお客がトイレだけ使い帰るとあった。市としてトイレレットパーパーだけでも支給できないか。

経環部長 現時点では難しい。

乳幼児医療費助成を 3才未満から 小学校入学前までに

問 この助成制度について千葉県は、今まで3才児から小学校入学前までの子供には入院7日以上を助成対象としていましたが、本年8月から入院1日以上も対象とする制度の拡充をしました。富津市でも、助成対象を現行の3才未満の入院から小学校入学前まで拡充し予算化すべきではないか。

市長 本助成制度は、平成15年度から市が直接医療機関に医療費を支払う現物給付の県補助事業であり、助成範囲は、市民税所得割課税世帯は通院1日1回2000円入院1日につき2000円の窓口負担で、均等割課税世帯は入院、通院ともに無料の制度です。

ただし、3才以上から小学校入学前の幼児については7日以上の継続入院に限り助成するものでしたが、県の改正に合わせて、本年8月1日から当市も3才以上の幼児1日以上の入院の助成へと拡充したところであり、今後さらに助成制度の拡充を検討していきたい。

問 本助成の拡充についての近隣3市の状況は。小学校入学前まで実施した場合の対象者は何人くらいか。概算費用はどの位になるか。
福祉部長 木更津市・君津市は、入



岩崎 二郎
議員

学前まで入院・通院を含めて8月から補助対象にしている。袖ヶ浦市は、既に平成14年から実施している。富津市の対象者は0才から入学前の数で1960人と把握している。費用の点では、総事業費で現在の約2倍を想定している。



3才児検診風景

乳幼児医療費助成実績表

年度	受診者数	金額
平成12年度	304人	10,850千円
平成13年度	604人	11,184千円
平成14年度	547人	15,223千円
平成15年度	1,518人	25,102千円
平成16年度	1,354人	24,170千円
平成17年度	1,294人	23,615千円

平成15年度から制度変更で受診者が増加しています。

議会改革推進研究会の報告

8月18日、9月26日に議会改革推進研究会を開催しました。現在、調査・検討中の主な課題についてご報告いたします。

審議会・委員会への 議員の選出

現在、市長部局の設置する多くの審議会等に議員が委員として選出されています。市長部局と市議会の独立性や法律・条例の問題、経費の問題などを考え、選出の廃止や定数の削減、内容の改善などの見直しについて調査・研究を行っています。

特別委員会の設置基準

大規模で期間の限られた事業など重要施策について、議会においてもっと事業内容の精査を図るべきという観点から、弾力的に特別委員会を設置することについて協議・検討を行っています。

傍聴規則の改正

本会議や委員会を傍聴しやすくするために傍聴規則の改正について調査・検討を行っています。

議会の インターネット配信

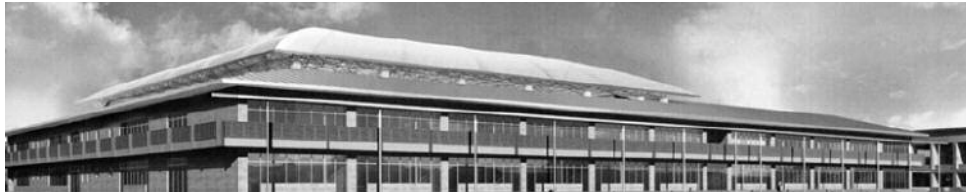
市議会の様子をインターネットで動画配信することについて、調査検討中です。

議事録作成の経費節減

市議会の議事録は速記者の記録と録音テープをもとに作成しています。経費節減の観点から速記者の廃止について調査・検討を進めています。



富津中学校 校舎改築への 道 程



平成14年度 校舎改築の事前調査費（耐震診断） 787万5千円
 平成15年度 校舎改築の事前調査費（耐力度調査） 210万円
 平成16年度 基本設計業務 1,554万円
 平成17年度 実施設計業務 2,887万5千円

平成17年12月 総務教育常任委員会で初めて改築内容の説明がある。

平成18年2月 全議員に対して初めて改築内容の説明がある。

平成18年3月27日 3月定例議会中の予算審査特別委員会委員長報告の討論中に修正案の取り扱い方で紛糾し休憩となり、その後にも何も手続きがなく、午後5時をまわってしまい流会となる。

3月29日 第1回臨時会を開催。冒頭、議長選が行われ、新議長のもと、富津中学校改築の予算が含まれている平成18年度富津市一般会計予算について活発な討議が交わされ、その結果、賛成過半数以上の多数で修正案が可決される。これにより中学校改築については、見直し設計料として1千万円だけが可決される。

7月24日 教育福祉常任委員会協議会が開催され、教育委員会より「富津中学校校舎改築比較検討書」が提出され説明がある。

7月31日 教育福祉常任委員会協議会が開催され、「富津中学校校舎改築基本設計検討委員会会議録」についての質疑があり、最後に、教育長より原案でお願いしたいとの発言がある。

9月1日 9月定例議会が開会。

9月8日 本会議にて富津中学校校舎改築の予算が含まれている「議案第28号平成18年度富津市一般会計補正予算（第3号）」が追加提出される。

9月13日 教育福祉常任委員会で「議案第28号」が全員の賛成で承認される。

9月26日 本会議最終日で「議案第28号」が反対・賛成の討論の末、賛成多数で可決される。富津中学校校舎改築は多目的広場にドーム設置で進むことになる。
 （実質見直し設計料は493万5千円でした）

*紙面の都合で大まかな流れしか記述されておりません。詳しい討論の内容等が知りたい方は、ぜひ富津市のホームページの富津市議会会議録や、市役所などに置いてある議会会議録をご覧ください。

大平興産(株) 管理型最終処分場保有水の漏洩について

議会としても富津市の環境について最重要課題として対応するように申し入れました。

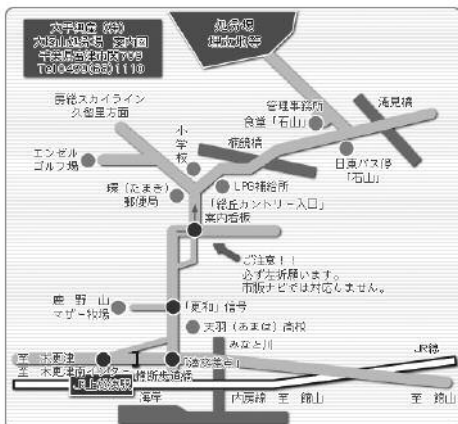


水漏れのあった処分場の下流観測井

富津市高溝の民間の処分場から水漏れが確認され、本年8月に富津市議会に千葉県担当者より説明がありました。その後、県から大平興産(株)に処分場の改善が勧告されました。

改善勧告内容

- (1) 処分場保有水漏洩の原因究明
- (2) 処分場内保有水が漏洩しないよう対策の実施
- (3) 改善が確認されるまでの廃棄物の埋立て処分の停止



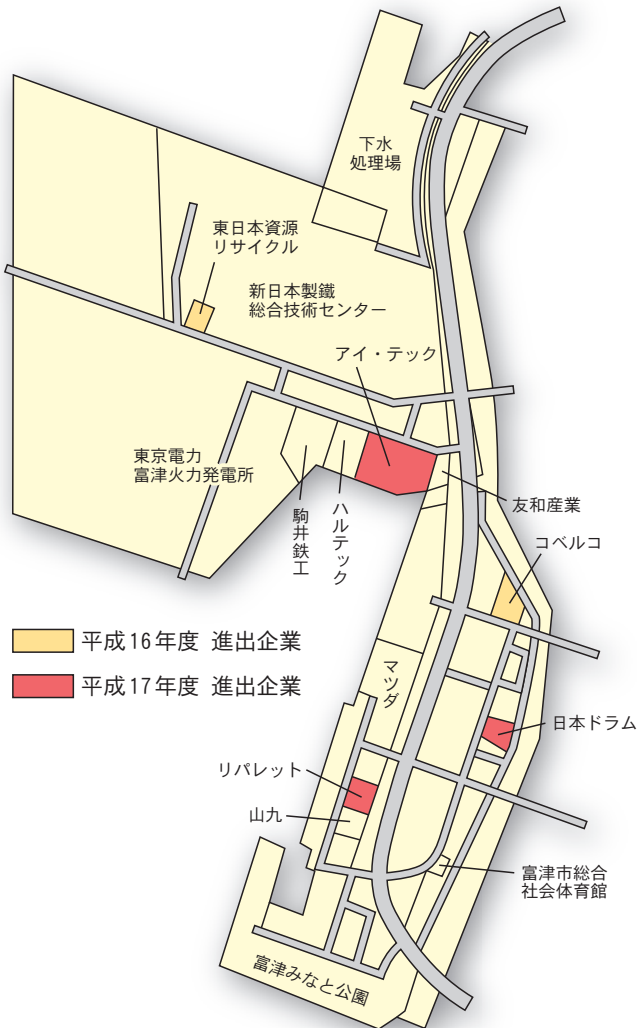
検査項目	平成17年8月4日 (事業者測定) 下流観測井	平成18年7月11日 (県立入検査)	
		下流観測井	上流観測井
塩化物イオン濃度 (mg/l)	1,500	1,900	20
電気伝導率 (mS/m)	610	748	40
地下水等検査22項目 (有害物質環境基準)	超過なし	超過なし	超過なし

※塩化物イオンは塩化ナトリウムなど

です。水質検査は次の表のとおり

企業誘致の現状レポート

企業誘致対策特別委員会では、9月25日、富津市内に進出決定になっている企業の現地視察を行いました。いよいよ建設が始まった企業や、試験操業に向け機械設備が進められている会社、操業が始まっている工場などを見学してきました。ここでは代表的な企業等をご紹介します。委員長／鈴木幹雄



(株)アイ・テック

本社：静岡県静岡市清水区三保387-7
 事業内容：鋼材の製造加工販売
 所在地：新富33番3
 投下資本：65億円
 着工：平成18年9月1日
 操業：平成19年5月予定



○当初の現地採用は27~28名位。将来は80名位(3交代)を考えている。全国に支店・営業所が20カ所あり、工場は8カ所。5千トンの自社岸壁を持つ富津の工場は社内でも最大規模となる。工場を白色で統一し、事務所もアメリカのホワイトハウスを模して造る予定。



リバレット(株)

本社：我孫子市中峠台7-11
 事業内容：廃プラスチックをリサイクルし、パレット(物置台)を製造し販売
 所在地：新富87番2
 投下資本：17億1,900万円
 着工：平成18年4月
 操業：平成19年4月予定

日本ドラム(株)

本社：神奈川県横浜市金沢区富岡東2-4-65
 事業内容：スチール、ステンレス製ドラム缶の更生・販売
 所在地：新富72番15
 投下資本：18億5,500万円
 着工：平成18年2月
 操業：平成18年10月13日



外観が整形され、内部の洗浄も終わり、顧客別に塗装され出荷されます。手前はステンレス缶。



議員自ら原稿を書き、制作をするようになって3号を重ね、更にタブロイド判からA4の大きさになって3号目を迎えた。表紙もカラー刷りになり充実してきた。ハード面は整ったので、いよいよこれからは内容が重要になってくる。

議員になって2年が過ぎた。最初の数カ月間は外国語の世界にいるようで、使われる言葉がよく理解できなかった。やっと最近になって全体像が見えてきた。この最初の時の体験を忘れることなく、わかりやすい編集に心掛け、目標の「広報ふつつ」を抜きたい。

(ふじ)

編集後記

20日(水) 10時	閉会
15日(金) 10時	議案審査
14日(木)	委員会
13日(水)	委員会
8日(金) 10時	議案質疑
7日(木)	予備日
6日(水) 10時	一般質問
5日(火) 10時	一般質問
1日(金) 10時	開会 議案の上程

ぜひ、議会傍聴に!
12月定例会日程予定